



初等部だより 9月号

鎌倉女子大学初等部

平成25年8月27日
第6号

おもちなさいな～♪いつでも夢を♪ いつでも夢を～♪歩いて歩いて♪

部長 松本安博

今年の夏休みは、いかがお過ごしでしたでしょうか。各ご家庭におかれましては、連日の暑さで、体調の保持にたいへん気を配られたことと思います。聞くところによりますと、その日の最高気温が35℃以上の日を猛暑日、30℃以上35℃未満の日を真夏日、25℃以上30℃未満の日を夏日と言うのだそうです。そうしますと、今年は地域にもよりますが、前代未聞の猛暑日が続いたこととなります。

まだまだ暑い日が続くことが予想されます。どうぞ、お身体をご自愛くださいませ。

さて、今年の夏休みのある朝のことでした。ゴミ捨てに出ましたところ、懐かしい思いでの歌謡曲が、蝉の鳴き声の隙間から聞こえてきました。「・・・♪知っているいる～♪おもちなさいな～♪いつでも夢を♪いつでも夢を～♪歩いて歩いて♪・・・」。朝の連続テレビドラマから流れているようです。ゴミを所定の場所に置いて戻る時には、もう蝉の鳴き声など気にならないくらいははっきりとメロディーが流れ、恥ずかしげもなくでたらめな歌詞を口遊んでいました。

実はこの歌ですが、私が6年生頃に流行した歌で、毎日のように街角で聞こえていました。また、家庭の中でも二十歳を過ぎた姉から毎日のように聞かされてきました。私は、けっして歌詞の意味を深く理解していたわけではなかったと思います。ただただ「いつでも夢を♪」のさびの部分に、私の心が動かされていたように思います。もしかしたら、夢をもっていない自分に気づき、「夢をもたなければ!」と、恥ずかしさと焦りがあったのかもしれませんが。その結果かどうかは定かではありませんが、その頃に私なりの将来の夢をもったように思います。その夢の一つは、プロ野球の選手になることでした。もう一つは、まもなく開通する新幹線の運転手になることでした。実際、中学校では迷わず野球部に入部しましたし、中央鉄道学校? (名称に自信がありません) へ入学の方法を知りたくて、手紙を書いたことを覚えています。そして、

世間も少しずつ広がってきた中学校の後半には、学校の先生になることが現実直近の夢となってきたようでした。

プロ野球好きの人にとって、この夏休みのビッグニュースといえば、日米通算4000本安打の大記録を達成したニューヨーク・ヤンキースのイチロー選手の話です。そのイチロー選手が夢について、次のようなことを言っています。

「夢」は近づくと目標にかわる!

夢には、かなえられるもの。かなえられないもの。また、時代によって、年齢によって、環境によって、人によって、いろいろあろうかと思われま。しかし、夢はいつも人を健康にしてくれます。人を勇気づけてくれます。そして、人を進歩させてくれます。

もしかすると、「自分には、夢なんかありません。」と、言う人がいるかもしれません。夢は、みんなが驚くような大きなことばかりでなくてよいと思います。ちょっとした願い、憧れ、望みであってもよいと思います。家庭でも、学校でもみんなでお互いのちょっとした夢を語り合えたなら、とてもうれしく思いますし、意義深いことだと思います。

私は、周りの人のおかげもあって、憧れていた学校の先生としての人生を過ごすことができました。この上は、できることなら一人でもいい、「あの先生に出会えてよかった。」と、思われるような先生になりたいと、今、夢見ています。

平成25年度
「初等部経営全体計画」より

知識基盤社会が到来し、高度情報化とグローバル化が進む未来社会を、志高く、「夢」と「希望」をもって、「感謝」と「奉仕」に生きる人づくりへのチーム初等部の挑戦。